

昨年の台風や大雨でも活躍しました

令和元年房総半島台風（第15号）、東日本台風（第19号）、10月25日の大雨では、多くの消防団が倒木の処理などさまざまな場面で活躍しました。

倒木処理 木をチェーンソーで切断し、道を通れるように



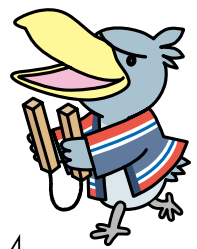
普段からチェーンソーを扱う訓練をしているんだ。災害時も任せて！

そのほかにも…

- 小型ポンプを使用して、水没した道路の排水の処理
- 危険がないかパトロール



屋根の補修 体育館の雨漏り箇所の一時的な修復



団員の自宅も被害にあっている中、地域のためにがんばったんだ！

出動した消防団員の声

昨年の災害で実際に出動し、地域の復旧のために活躍した団員の安藤さん。

普段は会社員として働く安藤さんに、当時の状況、どのような思いで活動に当たったのか、地域への思いなどについて話を聞きました。



あんどう まさや
安藤 正哉さん
 所属団 若葉区方面隊
 第9分団2部
 年齢 42歳
 消防団歴 5年

房総半島台風が直撃した当時、自宅には家族もいましたので、自宅の安全を確保してからすぐにほかの団員と集まって活動しました。

地域一帯が停電し、道路には物が散乱しており、倒れた木が道をふさいでいたので、チェーンソーを使い、持ち運べる程度に倒木を切断してから運ぶ活動をしていました。

すると、地域住民の方から「木が倒れて家にもたれかかっている」と助けを求められました。現場を確認すると、その木はとても大きく、今にも倒れそうで危険な状態でした。皆で協力し、家の外壁を壊さないようにロープで固定して、なんとか危険を排除することができました。

日頃から地域の方々にはお世話になっており、消防団員として力になりたいと思っていたので、倒木は想像以上に重く、重労働でしたが、今回の活動に消防団の意義を感じました。

あなたも地域を守るヒーローになりませんか？

ここまで紹介したように、消防団員は、普段は会社員や学生、自営業などほかの活動を行いながら、いざという時は地域のヒーローとして活躍しています。

団員には、学生や主婦、会社員など、さまざまな職種・年齢の人がいます。

消防団の活動に興味を持ったら、あなたも消防団に入りませんか。

詳しくは、消防局総務課へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。 [千葉市 消防団 入団](#)

入団しようか迷っている方、ご安心ください！

☞ 体力に自信がない… → 体力を必要としない活動もたくさんあります！

防災知識の普及やPR活動、パトロールなど、消防団には体力を必要としない活動もたくさんあります。災害時でも、情報収集や避難誘導、応急手当などの役割があり、体力に自信がなくても大丈夫です。

☞ 仕事や学校が忙しい… → 仕事などの合間で、活動できれば問題ありません！

災害出動や訓練などは、必ず参加しなければいけないわけではありません。仕事や学校の合間など可能な範囲で参加してください。

消防団員が市内の飲食店などで、料金割引などのサービスを受けられる消防団応援事業所制度もあるよ。僕たちを応援してくれる地域みんな、ありがとう！

